

新型コロナに負けるな、世田谷区！

DIYやガーデニング、手紙を書く…今まで出来なかったことをぜひこの機会に。

いそだくみこ 久美子

電機メーカー勤務、衆議院議員秘書を経て2019年4月に区議に初当選。
本号では第4回定例会と会派視察の報告をいたします。

特集 早期発見しクラスターを防ぐ！ 世田谷区が取り組む“PCR社会的検査”の経過

10月から開始の、介護事業者などを対象としたPCR社会的検査（無症状の人にも希望に応じて行う検査）で陽性者が54人（検査数4364人、陽性率1.24%、12月20日時点）。無症状でも陽性となり得るとの認識を持ち、寒い季節ですが、引き続き手洗い、マスク着用、定期的な換気を心がけたいものです。

詳しくは区のホームページより「介護事業所等を対象としたPCR検査（社会的検査）の実施について」をご参照ください。

特集 外環道トンネル工事関連 ～世田谷区も空洞調査を開始

10月18日の調布市のトンネル工事現場付近の地表面陥没事故を受けて、世田谷区でも工事区間の安全確認のための路面空洞調査を決定。公道調査だけでなく、私道部分についても所有者の要望に応じ調査をするよう区と事業者に申し入れました。

狭あい部に使う▶
ハンディ型地中レーダ
(東京外環プロジェクト
HPより)



だるさ・長引く熱
味覚や嗅覚障害
など

かかったかなと思ったら…相談窓口

相談はかかりつけ医やお近くの医院にまずお電話を。PCR検査は医療機関からも紹介可能です。相談できる医療機関が見つからないときは↓

- 世田谷区発熱相談センター
(旧名称：帰国者・接触者相談センター)
03-5432-2910
(平日8:30~17:15)
- 土日休日・平日夜間の相談は
東京都発熱相談センター
03-5320-4592 (24時間受付)

参考：世田谷区役所および厚生労働省ホームページ

活動報告

11月4~6日会派九州視察

熊本大学大学院生命科学研究部では抗がん、抗老化に優れた特性を持つハダカデバネズミに研究概要を伺うとともに、日本の博士の数が伸び悩んでいる現状、若手研究者に自治体で出来る支援など幅広い意見交換を行い、全国的な問題として区に提案をしております（裏面Q3）。

男子2人のママでもある

三浦恭子准教授と▶



◀ハダカデバネズミ

コロナ禍第3波の直前、熊本市、佐賀県武雄市、長崎市に会派視察に行ってきました。

熊本市教育センターでは市が震災以降積極的に取り組んできたICT教育の現状を聴取。家庭でLAN環境が未整備でもつながるタブレット端末の児童生徒への貸与、元会社員やインストラクターの女性らがICT支援員として教室での指導にも関わるなど、先進的な取組みが大変参考になりました。



長崎市では被爆資料の展示だけでなく、市内の小中学生に向け平和教育を推進しています。被爆者の体験記の収集やその朗読者の育成・派遣、全国の自治体から青少年を長崎市に招く「青少年ピースフォーラム」の実施など、時を経ても薄れることはなく、果敢な取組み姿勢を感じました。

皆様のご意見、ご質問もお待ちしております。下記までお寄せください。

いそだ久美子事務所

〒157-0066 世田谷区成城 6-16-12 成城島田マンション303室

TEL: 070-4075-6458 E-mail: office@isokumi.com http://www.isokumi.com



議員になって
初の

いそだ久美子区政報告会

11月28日成城ホール集会室にて、約30名をお迎えし初の区政報告会を開催。落合貴之衆議院議員・山口拓都議会議員のゲスト講演といそだの1年半の活動報告を致しました。次回はテーマを絞り参加者同士の意見交換の場も設けたく、ぜひご参加ください。



令和2年 第4回定例会 一般質問



区立小中学校のトイレ洋式化について

Q1 世田谷区のトイレ洋式化率は62%で23区内下から2番目。学校トイレの洋式化は児童生徒の生活習慣への対応、また地域の災害避難場所として必要だ。区は過去の議会で2020年には洋式化率80%を目指すとしていたはず。洋式化を加速する方策はないか?

学校トイレ洋式化率(23区内)

1	荒川区	99.4%
2	豊島区	94.3%
3	中野区	92.9%
4	江戸川区	91.7%
5	文京区	91.6%
6	港区	87.4%
7	渋谷区	83.7%
8	中央区	82.6%
9	台東区	82.5%
10	板橋区	81.5%
11	北区	80.5%
12	江東区	79.0%
13	目黒区	77.4%
13	練馬区	77.4%
15	品川区	77.0%
16	千代田区	76.7%
17	新宿区	76.5%
18	葛飾区	74.3%
19	墨田区	71.0%
20	足立区	70.9%
21	杉並区	64.0%
22	世田谷区	62.0%
23	大田区	52.4%
23区平均		79.4%

(2020.11.8 朝日新聞記事より編集)

A 財政的に厳しい時期ではあるが、学校や地域の要望も多く、洋式化率80%の早期実現に向け効率的な改修計画を図っていく。



いそだ久美子プロフィール

1966年神奈川県生まれ 県立厚木高校、早稲田大学第一文学部卒。旧姓小室。三菱電機株式会社に入社、事務系総合職として勤務。衆議院議員手塚よしお秘書に転身、2019年世田谷区議会議員選挙初当選。労働・教育問題、環境、都市計画などに取り組む。

<http://www.isokumi.com>

仙川の水害対策と環境整備について

Q2 2020年9月に全戸配布されたハザードマップにつき、浸水予想レベルが上がったことを心配する声が仙川沿岸から上がっている。改訂の要点について区民への周知をどうするか。また、長年指摘されている竜沢橋付近の土砂堆積と、そこに生える樹木や雑草について重点的に対処できないかお聞きする。

A ハザードマップ改訂点については区のホームページへの掲載、総合支所での防災塾などで区民に説明していく。また竜沢寺橋付近(成城2丁目)の土砂堆積については2014年に河床整正したのが最後であり、今年度中に樹木と雑草を除却する。



未来ある若手研究者に区からの支援を

Q3 ノーベル賞受賞実績などから日本の理化学系の才能は世界で評価されてきた。その一方で研究職の就業の不安定さから、世界の動向に反し日本は博士課程学生数が減りつつある。世田谷区で若手研究者応援キャンペーンを企画し住宅支援をしたり、そのリターンとして研究者に区内の小中学校で講演してもらい学問の面白さを伝えるような仕組みづくりができるないか?

A 区での研究者への住宅支援は、空き家オーナーとのマッチング、シェアハウスの工夫など新しい仕組みを検討する。児童生徒への若手研究者の講演は、支援の有無にかかわらず区内大学などと協議していきたい。